

平成 26 年度 病院経営局 運営方針

26 年度は第 2 次横浜市立病院中期経営プランの最終年度です。プランに掲げた目標は公立病院として必ず達成しなければならない“市民との約束”です。

消費税増税など周辺状況も厳しい中、目標の達成に向け、すべての職員が従来のやり方にとらわれず、スピードと改革・改善の意識をもって業務に取り組みます。

I 基本目標

- 1 市民病院は再整備を実現するためにも医療サービスの質向上・安定した経営基盤の確立を！
- 2 脳血管医療センターは医療機能を最大限発揮し抜本的な経営改善の成果を！
- 3 みなと赤十字病院は救急・アレルギー疾患等の政策的医療の更なる充実を！

II 目標達成に向けた施策

1 市民から必要とされる医療機能を充実します。

① 市民病院

- ・ 「婦人科内視鏡手術センター」を設置し専門医を配置することで、先進的で患者負担の少ない鏡視下手術を推進します。
- ・ NICU（新生児特定集中治療室）の拡大に続き、GCU（新生児治療回復室）を 6 床設置し、新生児医療機能の充実を図ります。
- ・ 再整備に向けて、用地（三ツ沢公園の一部及び隣接する民有地）及び基本計画を確定させ、基本設計に着手します。

② 脳血管医療センター

- ・ 神経内科医の増員など診療体制を強化し、脳血管疾患・神経疾患に対する診療機能を強化します。
- ・ 側弯症に対する診断・治療体制を教育委員会・医師会と連携し構築するなど、市域で不足する脊椎脊髄疾患医療を提供します。

③ みなと赤十字病院

- ・ 全国トップクラスの救急車受入実績を持つ医療機関として引き続き「断らない救急」を目標に救急医療の充実に取り組みます。
- ・ 食物アレルギー発症時の対処方法に関する実践型研修を幼稚園・保育園職員を中心に拡充します。

2 地域医療全体の質を向上します。

① 市民病院

- ・ 「患者総合サポートセンター」を設置し、入院から退院・在宅療養までの患者支援や地域連携の強化に取り組みます。
- ・ 高度医療機器（MRI・PET-CT 等）の共同利用検査を地域医療機関がインターネットで予約できるサービスを提供します。

② 脳血管医療センター

- ・ 地域医療機関との症例検討会を開催するほか、3 テスラ MRI や市内で初めて導入する全身用 X 線撮影装置・sterEOS イメージングシステム等、高度医療機器共同利用の充実を図ります。

③ みなと赤十字病院

- ・ 手術支援ロボット（ダ・ヴィンチ）を使用し、地域の医療施設からの紹介患者に低侵襲で質の高い医療を提供します。
- ・ MRI、CT などの高額医療機器の利用を地域医療機関に対して毎週土曜日に拡充します。

3 健全な経営を実現します。

① 市民病院

- ・ 再整備に向けてこれまで以上に積極的に患者の受入れを進めながら、安定した経営基盤を確立します。

② 脳血管医療センター

- ・ 外来診療体制を整え新規患者の受入増加を図るほか、市大・市立病院等の急性期医療機関と連携した患者確保を進めます。

③ 市民病院・脳血管医療センター共通

- ・ ジェネリックの採用拡大や診療材料の見直し、医療機器保守の見直しなど経費削減を徹底し、経営効率を高めます。
- ・ 持続的な病院経営に向け、現行の公務員型給与から職務の内容や責任に応じた給与制度への見直しを検討します。

III 目標達成に向けた組織運営 ～3つのチャレンジ～

1 チーム力を磨き上げ、「医療の質」と「満足度」を向上！

① チーム医療の推進

- ア 患者総合サポートセンターの設置による多職種での患者支援（市民病院）
- イ 「脳卒中・神経疾患センター」「脊椎脊髄疾患センター」の効果的な運営による医療の質向上（脳血管医療センター）

② 医師・看護師等の確保・育成

- ・ 医師の体制整備や専門医の養成に取り組むとともに、看護職員の確保・育成や医療技術職員の局独自採用を進めます。

③ 患者満足度、職員満足度の向上

- ア 職員発の組織横断的なプロジェクトなどを積極的に展開し、職員の意見や自発的な取組を病院経営に取り入れる仕組みを構築
- イ 医療機能の拡大・拡充に対応した病院名称への変更（脳血管医療センター）

2 地域の医療機関等との連携推進！

① 地域医療機関との連携

- ・ 院内横断的なプロジェクトを設置し、患者支援・地域連携の取組を強化します。

② 地域医療機関の支援

- ・ 地域の医療機関に対する院内研修の開放や講師派遣の拡大等により、教育・研修スキルを提供します。

③ 市立 3 病院の協力・市立大学との連携

- ・ 一体的な広報・啓発など病院間の協力体制を構築します。また、医療の質向上や医療人材の育成のため、市大等との連携を強化します。

3 全職員の経営マインドアップ！

① 職員意識の高揚

- ・ 責任職が率先して、職員一人ひとりの経営マインドや患者・市民に対するホスピタリティの向上に取り組みます。

② マネジメントサイクルの迅速・確実化

- ・ 課題認識から対策の検討・実施・改善に至るまでの PDCA サイクルを確立し、スピード感を持って確実に行動へと移していきます。

③ 組織風土の醸成

- ・ 課題や目標を職員に伝わるまで伝えることを目指します。

- ・ また、患者や利用者から寄せられる意見・要望を真摯に受け止め、患者等の視点で改善に迅速に取り組める強い組織をつくります。

病院事業における重点取組

1 市民病院再整備事業

再整備用地の取得に向けた地権者との交渉を進めるとともに基本計画を策定した後、26年度下半期を目途に基本設計に着手します。

2 脳血管医療センターの経営改善・名称変更

脳血管疾患医療の充実や救急・急性期治療、早期リハビリテーションなど、拡大した医療機能を最大限発揮し抜本的な経営改善を図るとともに、1月を目途に医療機能にあわせた新名称に移行します。

3 次期横浜市立病院中期経営プランの策定

現行の第2次横浜市立病院中期経営プラン（24～26年度）が最終年度となるため、平成27年度を始期とする次期プランを策定します。

各病院の主な事業・取組

1 市民から必要とされる医療機能の充実

【主な事業・取組】

(1) 市民病院

- 腹腔鏡使用手術件数
- 救急受診患者総数
- がん検診受診者数

(2) 脳血管医療センター

- 脳血管疾患救急受入件数
- 手術件数
- 側弯症検診に伴う紹介患者数

※25年度実績は、第3四半期時点の実績

【内容】26年度目標（25年度実績）

160件（102件）
20,000件（14,249件）
37,850人（27,398人）

2 地域医療の質の向上

【主な事業・取組】

(1) 市民病院

- 患者総合サポートセンターの設置・運営
- 地域医療機関従事者対象の研修会参加者

(2) 脳血管医療センター

- 医師会との症例検討会
- 高度医療機器の共同利用の充実

※25年度実績は、第3四半期時点の実績

【内容】26年度目標（25年度実績）

4月：入院管理業務の開始
7月：ベッドコントロール実施
入院前アセスメントの試行実施
1月：入院前アセスメントのブース設置
570人（391人）

2回（2回）
450件（281件）

3 健全な経営

【主な事業・取組】

(1) 市民病院

- 一般病床利用率の向上
- 入院診療単価の向上
- 経常収支

(2) 脳血管医療センター

- 病床利用率の向上
- 入院診療単価の向上
- 経常収支

※25年度実績は、第3四半期時点の実績

【内容】26年度目標（25年度実績）

91.0%（87.9%）
66,500円（62,426円）
6.82億円以上（1.53億円）
※26年度は新会計基準
80.0%（68.9%）
48,500円（46,645円）
0.04億円以上（△10.87億円）
※26年度は新会計基準

4 目標達成に向けた組織運営

【主な事業・取組】

(1) 2病院共通

- 職員の発案・意欲を活かすプロジェクトの運営

設置・運営（一）

(2) 市民病院

- 患者満足度の向上（入院）
- 患者満足度の向上（外来）
- 職員満足度の向上

90.0%（88.1%）
85.0%（80.1%）
50.0%以上（58.6%）

(3) 脳血管医療センター

- 患者満足度の向上
- 職員満足度の向上

92.7%以上（91.9%）
54.8%以上（52.3%）

※25年度実績は、第3四半期時点の実績

【内容】26年度目標（25年度実績）